

## 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年11月10日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		個別療育スペースと集団療育スペースを分けることにより、児童が集中して療育に取り組みやすい工夫しております。	今後も療育スペースについては、工夫していくことで療育に集中できる環境を目指してまいります。
	2	○		基準以上の人員配置で取り組んでおりますので、突発的なご利用者の増加に対しても対応させて頂いております。	サービスの質を確保できるよう、職員配置の確認、見直しを随時行っております。
	3	○		室内に段差は無く、児童がつまずくことなどが起きないような構造となっております。	実際に車椅子を使用される児童の利用はありませんが、通路の幅等について支障が無いかを事前に確認し、必要な場合は対策を検討していく必要があります。
	4	○		毎日の清掃を徹底しており、室内の消毒についても衛生に配慮して最善の対応を心がけております。	今後も継続して清潔な空間を保っていくよう努めてまいります。
業務改善	5	○		計画は職員会議にて検討し、実行した後に良い点、悪い点を確認し、改善案へと繋げていけるよう取り組んでおります。	各職員が意識をもって取り組む事が大切であると考えておりますので、今後もしっかりと打ち合わせ後に実行へと繋げることができるよう業務を進めてまいります。
	6	○		保護者様からいただく評価がサービスの質の向上へ繋がりますので、結果を踏まえ、業務改善策を検討しております。	保護者様からの意向を踏まえた上で、改善へと繋げていけるよう努めてまいります。
	7	○		事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、保護者として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	今後も継続して毎年公式 Web サイトにて公表してまいります。
	8	○		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	第三者からの評価受審については今後の検討課題として検討してまいります。
	9	○		職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	外部研修の機会があればオンラインであっても参加し、更なる職員の資質向上に努めたいと考えております。
適切な支援の提供	10	○		初回面談時に児童の課題、及び保護者様のご意向を踏まえ、支援計画の立案に努めております。	今後も各児童の課題を分析し、ニーズに沿った支援計画の立案ができるよう努めてまいります。
	11	○		法人で統一されたアセスメントシートを使用しております。	今後も適切にアセスメントを行うことにより、状況の把握へと努めてまいります。
	12	○		ガイドラインを遵守し、児童一人ひとりの状況や児童・保護者様のご意向や課題から必要な支援内容や優先順位を踏まえ、提供すべき支援内容を組み合わせています。また通常の支援に加え、保護者様のご希望により延長支援にも取り組んでおります。	今後もガイドラインに沿って、概ね半年ごと、あるいは適宜、モニタリング、担当者会議にて見直しを行い、児童・保護者様のご意向を踏まえ、具体的な支援内容、個別支援計画を作成してまいります。
	13	○		職員間での共通認識の元、支援計画に沿った支援を行っております	今後も継続して支援計画に沿った支援が行われるよう努めてまいります。
	14	○		職員間で打ち合わせを行い、活動内容の決定から実行へと繋げております	今後も職員間で打ち合わせを行い、色々な活動プログラムが立案できるよう努めてまいります。
	15	○		日々の療育には基本的な療育に加え制作活動や、季節に応じた行事を行っております	今後も新たな活動を取り入れていけるよう職員間での打ち合わせを行い検討してまいります。
	16	○		理学療法士等の専門職員を配置したことにより、各児童の課題に合わせた機能訓練プログラムを組み込んでおります	学校休業日等、支援時間が確保できる日に関しては、機能訓練のみならず、社会的、協調性について学んでいけるよう、色々な活動を取り入れてまいります。
	17	○		業務内容についての共有及び、児童の支援内容について打ち合わせを行っております	職員間での共有は業務遂行にあたり重要となりますので、今後も継続してまいります。
	18	○		保護者様からのご依頼事項や児童の様子についての情報共有を行っております	一日の流れで各職員の気付き等を共有することにより、業務改善へと繋げることができるよう努めてまいります。
	19	○		毎日記録を取ることで、支援内容の振り返りや現状の把握ができるよう整備しております	今後も記録としての在り方に着目していき、支援内容の振り返りが出来るよう努めてまいります。
20	○		6ヶ月に最低1回、モニタリングを行い、計画内容の評価を行ったうえで支援計画の見直しを行っております	より良い支援計画となるよう今後も継続して行っております。	
関係機関や保護者との連携	21	○		基本的に、サービスの責任者である児童発達支援管理責任者が参加しております	各関係機関との連携は重要ですので、児童発達支援管理責任者が参加していくことで児童の状況を共有出来るよう努めてまいります。
	22	○		関係機関と積極的に情報共有・相談を行い、連携した支援ができるよう努めております	今後も更に地域との繋がりを大切にしながら連携を図ってまいります。
	23	○		現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	○		現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	○		必要に応じて、幼稚園、保育園へ電話連絡や訪問を行い、情報共有に努め、より良い支援に繋がるように配慮しております	今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と、相互理解を図ってまいります。
	26	○		相談支援員を中心とした引き継ぎを行い、支援内容の情報共有を図り、相互理解を図っております	今後も、関係機関と支援内容の情報共有を行い、児童が移行先で有意義な生活が共有できるように、相互理解を図ってまいります。
	27	○		療育センターでのサービス担当者会議に参加することにより、専門家による助言を事業所内で共有しております	サービス担当者会議のみならず、研修が開催される場合は積極的に参加できるよう努めてまいります。
	28	○		これまでは事業所での交流機会はありませんでした	コロナ終息後、保護者様のご意向をうかがいながら、幼稚園、保育園等との交流機会への検討を行っております
	29	○		今年度はコロナの影響で参加はありませんでした。状況をみて参加してまいります	オンライン研修等、参加可能な内容について、随時参加できるよう努めてまいります
	30	○		連絡帳にて様子をお伝えし、保護者様とも定期的に情報共有ができるよう努めております	保護者様との情報共有は支援の方向性の確認及び、より良い支援を目指すために必要ですので、今後もしっかりと共通理解を持てるよう努めてまいります
保護者への説明責任等	31	○		ご家庭でもできる簡単な課題をご提案させて頂いたり、療育の進め方等について 助言を行っております	今後も助言等を行っていきながら、家族支援にも積極的に取り組んでまいります
	32	○		毎回契約時に時間をかけ丁寧な説明となるよう努めております	今後も丁寧な説明を心掛けてまいります
	33	○		共有ガイドラインが示す支援内容と保護者様のご意向、児童の課題についてすり合わせの上、充分な説明を行い、同意を頂いた上でご署名を頂いております	今後も同様にご意向や児童の状況に応じて支援計画を作成し、丁寧な説明を心掛けてまいります
	34	○		連絡帳や送迎時、電話等で相談や助言を行い、希望される方には、個別にご家庭や事業所内でご相談を受け、助言を行っております	職員間で様子を共有し、適切な対応ができるよう努めてまいります
	35	○		コロナ感染予防の観点から保護者会等については実施できておりません	今後、コロナの状況をみながらどういった形で開催できるか検討してまいります
	36	○		こちらからお申し付けを行い、保護者様からのお申し付けには適切に対応しております。又、担当者で連絡が取りやすいように配慮し、ご意見はミーティングにて職員間で共有し、迅速な対応を心掛けております	今後も引き続き保護者様からのご相談やお申し付けには、迅速・丁寧に対応してまいります
	37	○		公式 Web サイトのブログにて事業所の活動の様子をお伝えしています。また年4回「お便り」を季刊発行しております	今後は毎月子どもカレンダーという形で事業所便りを作成し、活動の様子や職員紹介等のお知らせを行ってまいります
	38	○		ブログに掲載する活動写真等も含めて、個人情報に関わるものについてはしっかりと説明し承諾を得ることを徹底しております	個人情報は今後も同様に細心の注意を払ってまいります
	39	○		連絡帳を活用し、次回の日程や時間、送迎時の注意点など細かく記載するように配慮しております。又、会話においてもわかりやすく伝わりやすい表現を心がけております	今後も個々の特性を考えながら、情報伝達や、意思疎通に配慮してまいります
	40	○		今年度は地域住民をご招待する等の企画運営の機会はありませんでした	今後の検討課題とし、どのように企画していくか模索してまいります
非常時等の対応	41	○		各種マニュアルについては、利用契約時にお伝えしております。職員間でも共有できるよう定期的に確認をしております	いざという時にしっかりと対応ができるよう、継続して周知を行ってまいります
	42	○		火災、地震、風水害、不審者対応についての避難訓練を実施しております	避難訓練は繰り返し取り組む事が大切ですので、今後も年間計画として取り組んでまいります
	43	○		初回アセスメントでの聞き取り内容を記録として残し、職員間での共有徹底を図っております	今後も状況の確認と職員間の情報共有に努めてまいります
	44	○		アレルギーに関する子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	今後も同様に適切していくことで安心して利用して頂けるよう、努めてまいります
	45	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	今後も、細かい内容であっても、記録として残していくよう努めてまいります
	46	○		職員間にて、言葉遣い等虐待に対する基礎知識、言向上の為に会議を取り入れております	定期的な職員間体制制に関する意識していくことが重要であると考えますので、今後も共通理解を持ち支援を提供できるよう努めてまいります
	47	○		現在、身体拘束が必要な児童のご利用はありませんが、利用契約書には身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護する為にやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得るようしております	今後も契約時に説明を行うことにより適切な支援となるよう努めてまいります

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。